

平成 24 年 11 月 27 日

総務省「平成 24 年度 ICT 街づくり推進事業」に 名古屋大学が代表となる共同提案が委託先候補に決定

総務省が公募した「ICT 街づくり推進事業」について、名古屋大学大学院環境学研究科教授森川高行を代表とする共同提案が、11 月 27 日、委託先候補に決定いたしました。「ICT 街づくり推進事業」は、ICT（情報通信技術）を活用した新たな街づくりの在り方やその実現に向けた具体的な展開方策である「ICT スマートタウン」先行モデルの実現を、検証するための実証プロジェクトです。全国から 55 件の応募がありましたが、5 件の委託先候補に決定いたしました。

■提案事業名

「平常時の利便性と急病・災害時の安全性を提供する市民参加型 ICT スマートタウン」

■提案主体 名古屋大学 その他別紙のとおり

■総事業費 約 1 億 1 千 6 百万円

■事業概要

豊田市において、ICT を活用した「交通分野」と「医療分野」の先進技術の融合による、超高齢社会と減災に対応できる「ICT スマートタウン」の開発を目指す。具体的には、「プローブ・システム」等の先進的 ITS（高度道路交通システム）と GEMITS（救急医療支援情報流通システム）の融合を中核技術とし、平常時と救急救命／災害等緊急時においてシームレスに機能する都市システムを開発する。

■本年度の取組（予定）

①情報収集系機能 <名古屋大学・豊田市>

- ・ プローブカー情報や市民のつぶやき情報を活用した移動支援情報の提供災害時等で役立つ移動支援情報提供の検討(みちなびとよた)

②医療・緊急サービス <岐阜大学、足助病院、豊田市>

- ・ 統合 IC カードの利用と、病院・救急車内の専用読取り機の設置による患者情報の共有化と救急救命活動の支援

③移動・福祉サービス <名古屋大学、(株)メイテツコム、豊田市>

- ・ 足助地域バスにおける統合 IC カード(交通決済と医療情報の統合)の活用実証

豊田市/平常時の利便性と急病・災害時の安全性を提供する市民参加型ICTスマートタウン

提案者	名古屋大学、岐阜大学、豊田市、(株)日建設計総合研究所、(株)フォアフロントテクノロジー、(株)メイテツコム
事業概要	愛知県豊田市において、ICTを活用した「医療分野」と「交通分野」の先進技術の融合による、超高齢社会と減災に十分対応できる「ICTスマートタウン」の開発を目指す。具体的には、「プローブ・システム」等の先進的ITSとGEMITS (Global Emergency Medical supporting Intelligence Transport System) の融合を中核技術とし、平常時と救急救命/災害等緊急時においてシームレスに機能する都市システムを開発する。本事業は、我が国の典型的な地方都市の特徴をもつ「豊田市」において実証する。

豊田市における市民参加型ICTスマートタウンのイメージ

